

SDGs おおたゴールドスカイパートナー宣言書

(宛先)大田区長

私たちは、SDGs の内容を理解し、以下のとおり、大田区とともにSDGs の推進に取り組むことを宣言します。

<宣言日>令和7年10月28日

事業者情報					
事業者名		株式会社小山商会東京支店			
代表者 職・氏名	職名	取締役支店長			
	氏名	鈴木 宏行			
ホームページ URL (任意)		http://www.c-koyama.co.jp			
事業者ロゴ (任意)		 株式会社 小山商会			
事業者としての 2030 年のあるべき姿					
株式会社小山商会は生業である寝具リースを提供することにより、「水質・地球環境の保護」「寝具を通じて快適な睡眠・心健やかな生活を提供」「限りある資源の有効活用・消費・生活活動の改善」を 2030 年のあるべき姿として貢献しますことを宣言いたします。 SDGs 推進に取り組むパートナーと連携し、持続可能な未来を目指していきます。					
これまでに取り組んでいる・これから取り組みたいSDGs 17 のゴール・目標（複数選択可） （これまでに取り組んでいるゴール・目標：○ これから取り組みたいゴール・目標：●）					
 1 貧困をなくそう	 2 飢餓をゼロに	 3 すべての人に健康と福祉を	 4 質の高い教育をみんなに	 5 ジェンダー平等を実現しよう	 6 安全な水とトイレを世界中に
		○			
 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	 8 働きがいも経済成長も	 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	 10 人や国の不平等をなくそう	 11 住み続けられるまちづくりを	 12 つくる責任 つかう責任
				○	○
 13 気候変動に具体的な対策を	 14 海の豊かさを守ろう	 15 陸の豊かさも守ろう	 16 平和と公正をすべての人に	 17 パートナリシップで目標を達成しよう	
	○	○			

目標の達成に向けた重点的な取組内容等				
分野 (該当分野に チェック) (複数選択可)			SDGs ゴール (メイン・サブ) の数字を記入 (複数記入可)	目標の達成に向けた重点的な取組
①	経済	☐	【メイン】 15 【サブ】	・地球環境の保護。 配送時の走行ルートや積載量の適正化・アイドリング ストップの推進を実施し、二酸化炭素排出削減を図 る。
	社会	☐		
	環境	☒		
②	経済	☐	【メイン】 3 【サブ】	・寝具を通じて快適な睡眠、心健やかな生活を提供。 販売としてではなくリース品としての寝具類を宿泊・ 教育・企業・研修所・官公庁・医療・介護等あらゆる 施設へ提供する。
	社会	☐		
	環境	☐		
③	経済	☐	【メイン】 11, 12, 14 【サブ】	・限りある資源の有効活用、消費、生産活動の改善 リース後の布団は一度解体して中綿を洗浄・再生作業 を行い、リユースを行う。破れや汚れにより提供でき なくなったリネンやタオルは裁断してウエス（工業用 の雑巾）としてリユースを行う。
	社会	☐		
	環境	☐		

進捗報告			
	進捗状況（1年目）	進捗状況（2年目）	進捗状況（3年目）
①	走行距離の削減により燃料使用量が 前年比 17.1%減 配送効率の改善により CO ₂ 排出量の 削減効果を確認(推計 137.3t 車両 24 台ハイエースの CO ₂ 排出量 1km あた り 264 g を基準とする)		
②	リース寝具の提供先が前年比 25 施設 増加 医療・介護分野での衛生管理基準に適 合した寝具提供体制を整備		
③	再生布団のリユース率が向上し、 廃棄リネンの一部をウエスとして再 利用。廃棄物量が前年比 100kg 削減。		